



令和7年3月1日
目黒区立駒場保育園園長

街には紅白の梅や沈丁花など春の香りが漂い、木蓮の蕾も膨らみ始めています。暑さ寒さも彼岸までという言葉どおり、三寒四温を繰り返して春はもうすぐそこまできているようです。

各クラスとも後半の懇談会が終わりました。どのクラスもたくさんの保護者の方に出席していただき、お子さんを大事に思っていることに加え、園の保育への関心の高さに感謝いたします。フリートーキングでは「1年間で成長した姿」「イヤイヤ期について」「子育ての悩み」などをテーマにしました。言葉が増え、お互いに気持ちが伝わりやすくなったことに成長を感じる、現在進行形のイヤイヤ期の話では「みなさん同じ悩みがあるんですね」「うちだけじゃないことがわかって安心しました」と安堵の声もありました。保護者同士の繋がりは、子育てをしていく中で「どこも同じ」という安心感や、悩みに対する子育てのヒントにもなり、メリットがたくさんあります。各クラスでお見せした写真や動画でも、子どもたちの成長が見られたとともに、現在に至るまでの心の葛藤も共有し、共感できたのではないのでしょうか。縁があり、同じ園の同じクラスになった仲間同士、この先もずっと良い関係を紡いでいただければと思います。

今年度も園の運営にたくさんのご理解ご協力をいただき、本当にありがとうございます。子どもたちが毎日元気に笑顔で過ごせていることに感謝しています。

もうすぐ子どもたちは一つ大きなクラスに進級します。そして年長児は小学校への就学を迎えます。子どもたちが新たな出会いの中で自分の力を発揮し、一人ひとりが自分らしく過ごしていけるよう、これからも見守っていききたいと思います。

かわいいつぶやき
特集



「パパは〇〇の仕事してるけど、先生は何の仕事してるの？」
(5歳児クラス)

園庭で…

たくさんの遊具を全部綺麗に片づけることができると、
「だってぼくたち、子どもの大人だもん！」 (3歳児クラス)

お散歩で梅の花の蕾を見つけて…
保「ピンクのお花が咲くんだよ」
子「え～！うらやましい～！」
(2歳児クラス)

保「今日のおやつなんだろうね」
子「うわー！きのこだ！」
子「あ！きのこ！きのこ！」
その日のおやつはきなこマカロニでした。
(1歳児クラス)

3月の行事予定

- 卒園式 4、5歳児クラス
- お別れ遠足 3、4、5歳児クラス
- 保育室移動日 (詳細は後日お知らせします)
- 私立保育園とドッチボール大会
5歳児クラス
- お別れ会 3、4、5歳児クラス
- 0歳児検診 避難訓練 身体計測



<一年間で成長した子どもたちの姿をお知らせします>

0歳児 ひよこぐみ

靴に見立てた玩具を足にはめ、キルティングの布を帽子にして、時にはハンカチの上着を羽織り、バッグを持って「ばいばい」と保育士と一緒ににお出掛けします。室内のあちこちを歩き回りながら、壁に貼ってある布製のリンゴやブドウを取っては自分で食べる真似をしたり、保育士にも手渡したり口元に持って行って食べさせる真似をしています。保育士や友達がやっていることを真似しながら日々の生活の中の身近な経験を再現して遊ぶことが楽しくなってきた子どもたちです。

1歳児 ちゅうりっぷぐみ

ままごとコーナーで「いらっしゃいませ～」とお店屋さんになりきって遊んでいます。もちろんお客さんも子どもたちです。まだまだ“自分のもの”と独占したい思いもありますが、友達が選んだものを受け取ったり、「メロンジュースどうぞ」と自分が選んだオススメを渡したりする姿もあります。イメージが膨らんできたことでなりきってごっこ遊びを楽しんだり、保育士や友達とやりとりをして楽しむなど、遊びも人間関係も広がってきました。

2歳児 たんぽぽぐみ

この1年間で“友達”の存在が子どもたちの心を大きくしてくれました。保育園ごっこやお店屋さんごっこなど、友達とやりとりをしながら同じ遊びをしてみたり、積み木を高く積んで崩れてしまっても「もう1かい!」と一緒に挑戦したりと、遊びの中で友達と関わるが増えました。一緒に遊ぶ中でまだまだぶつかり合いもたくさんあります。保育士と一緒に考えながら、自分の思いを言葉にして相手に伝えたり、相手の言葉を聞いたりしながら、少しずつ友達の気持ちにも気がつけるようになってきました。

3歳児 さくらぐみ

気の合う友達と一緒に遊べる時間を楽しみにしている子どもたちは、庭に出ると「山作ろうよ」「サーキットやりたいな」「中ぶつけは?」と友達と何をして遊ぶかを一緒に考える姿がみられるようになってきました。それでも時には「山作りたい」「えー、サーキットがいい」と友達と意見が分かれることがあり、お互いが自分の気持ちを主張し合って譲れずにいます。保育士が「時間があるから、どっちも出来るよ」と伝え、「始めに山を作って、その後サーキットをやろうよ」と、それぞれがやりたい遊びと一緒に遊べる方法を考えられるようになってきています。

4歳児 すみれぐみ

友達と遊ぶことが楽しくて「何して遊ぶ?」「氷鬼!」「ドッジボール!」「じゃあジャンケンで決めよう」と子ども同士で話し合っ遊ぶことが増えました。友達と話す中で、自分の気持ちを伝えるだけではなく、相手の気持ちも聞こうとしたり、自分の思い通りにならなくても気持ちに折り合いをつけようとするなど、心の成長も見られています。また、2月からは当番活動が始まりました。事務所への人数報告では年長の子の横に並んで立ち、年長の子が何をしているかを真剣なまなざしで見えています。食事の準備など緊張しながらも年長児を真似てやってみたりと、少しずつ憧れの年長クラスになることを楽しみに、様々な活動に意欲的になっています。

5歳児 ひまわりぐみ

「ビー玉転がししようよ」という声に「いいね、入れて」とあっという間に数人が集まります。少しでも高い位置から、長く転がるコース作りを目指し「バック積み木を持ってきて高くしよう」と玩具を組み合わせています。「よし。できたね」とワクワクしながら転がしたものの途中でスピードが落ち、止まってしまいました。「なんでだろ」と原因を考え「次は薄い積み木にしよう」など失敗した過程も楽しみながら、様々な積み木や空箱を組み合わせ調整し作り上げていました。お互いに意見やアイデアを伝え、一緒に考えたり協力したりしながら遊びを進められるようになっています。